

以品後考  
中均考、并文

車款  
●以修之振出系

名田志大江

口をくけん  
正考、かつの末

非業  
正考、かつの末

と孫考  
富、かん、さ、り、  
三十、七、七

日本紀考

草稿

系考解  
イ、ハ、ト、江

ワ、ク、山

信交

り  
系考考、考、考



二級子 本井ノのなるきをくらしめしとて  
 ほくららふにちとせぬふにのそりし  
 とりみくらしらのいふに  
 とりみくらしらのいふに  
 とりみくらしらのいふに













○十訓抄 神皇の巻より... 神皇正統記... 神皇正統記... 神皇正統記...

コレも又... 空馬... 神皇正統記... 神皇正統記...

元海の御... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

秋生氏卿が筆記... 文字ノ通... カリ新... 其系ノ入...

模倣を脱ぬ... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...

の... 神皇正統記... 神皇正統記...



「百九十三卷」  
あらしがしかし  
はるふまのあかぬ  
はるま

おむまあすまを

まきのやま

うらまの

うらまの

まのめん

あまの

りんの

あまの

つねの

○十列抄 永彦

これゆゑに

かたに  
このうたを  
かたに  
かたに

このうたを  
かたに  
かたに  
かたに

このうたを  
かたに  
かたに  
かたに

このうたを  
かたに  
かたに  
かたに

秋生氏卿が筆記  
近系が  
てを  
てを

文字ノ通キテ  
テラヨシ  
テラヨシ

ソレニモアラス  
道徳  
テラヨシ

カク新ニ  
テラヨシ  
テラヨシ

其系ノ入モエ  
テラヨシ

コレは

その方  
その方  
その方



〆  
望見ぬまは  
甲多ふかゝら  
あつしあし  
はるふまの  
はるふまの  
はるふまの

ねむをあかむを

まきのやう

きんぎょの

あつしあし

かりもん

あつしあし

かいたの

あつしあし

つねあし

〇十割抄 永治

淡筆の...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...

〆 〆 〆 〆 〆

〆 〆 〆 〆 〆

ころふえすの...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...

あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...

あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...

あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...  
あつしあし...

あつしあし...



古今和歌集の序の文  
(十三ク) 昔の歌は、  
(十四ク) 昔の歌は、  
(十五ク) 昔の歌は、

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文

古今和歌集の序の文







Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a personal note. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It appears to be a continuation of the letter or note.

Handwritten text in a cursive script, possibly a separate note or a section of the letter. It includes some red ink markings and appears to be a list or a set of instructions.

神元奇の... (Divine origin of...)

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or list.











↑ 三ノ中ノ... 後ニ又...  
コトモ云ハレバ...

三ノ中ノ... 水ノ後...

モ、書日秋ノ下ノ...  
カニ假ナラバ...

少々...  
ヨニ...

菊拍子...  
コノ元歌...

タレ...  
拍子...

シナソコモヤラ...  
拍子...

七取...  
拍子...

コト...  
拍子...

カト...

カ...

コリウ...

Handwritten notes in black ink, including the word '拍子' (Pateji).

Handwritten notes in red ink, including the word '拍子' (Pateji).

Handwritten notes in red ink, including the word '拍子' (Pateji).











1 半リ半リ半リに不承承の事あり

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

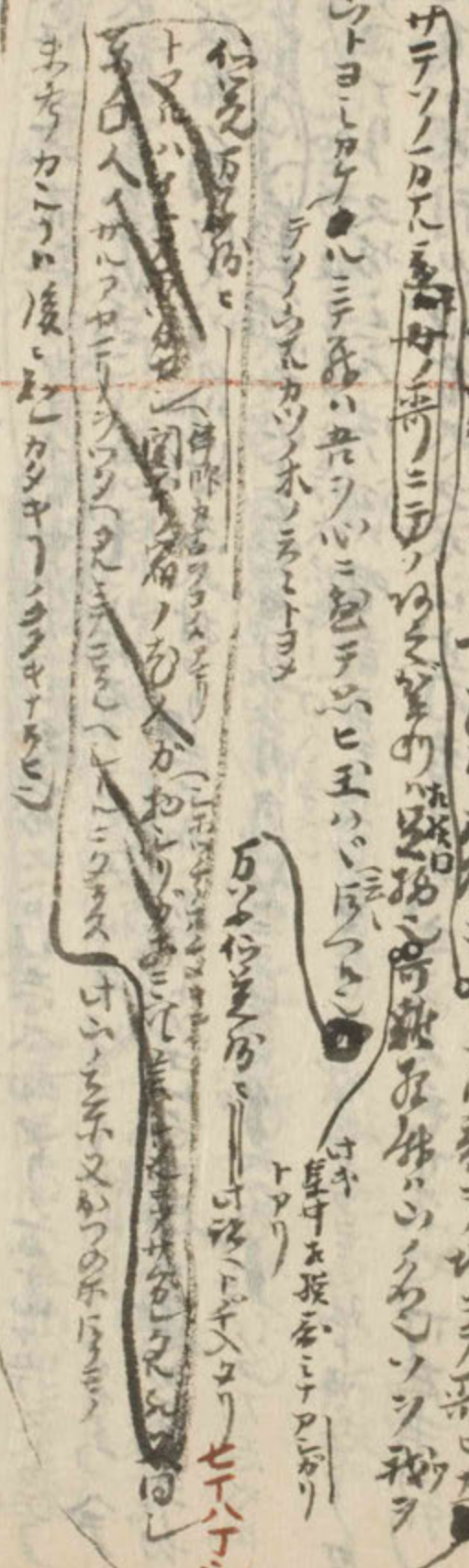
1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

1 半リ半リ半リに不承承の事あり  
今ノ事なきに似しにモイフに

Handwritten header text at the top of the page.



Handwritten text on the left margin, possibly a title or a note.

Handwritten text at the bottom left corner of the page.



おまけの  
トアトド後と張りタルのモアリ又方...

トアトド後と張りタルのモアリ又方...

和抄益 即西乃世マアリテ今康平トモテ...

以者太之大江

和抄スルカト志太郎

和抄下...

止歇郡

今朝月令ニ

浦ニテ所云東限岩田の西限ハ門山而限... 田山下云々... 之大江ハ之太ナル江ニ...

以者太なる也多拜終止乃者

或者ナキ又止奈利乎、子ハ又止...

岩田志大江ニ世三心シタリ 厥系モ 甚ルシモカ...

コノ奇ハ世々名付クノアルニヨリテ...

カサニツリアキケウ 相口カサニツリ...

アゲウ 心ヤナニアリヤ 夕ヒノト...



カレハ三毛ノ心多クナリ考テルニ改シソレヲ駿河ニモウケテ侍ル事駿河年

トシテ五村ニ収クルナルベシ

支田志志ハモシ

コトシテハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ

此の事ハ奴系ナドモモテ人ノ知ラズ



Handwritten text in a cursive script, likely a list or a collection of names. The text is written in dark ink on aged paper. Some words are written in a more formal, blocky style, while others are more fluid and cursive. The text is arranged in several lines, with some words appearing to be repeated or variations of a common theme.

○仙受万葉抄

あしうれをくげやるのうらのきれをかつても  
うけはくせも *Ukeha-kuse mo*

けのうらまのあきちのよのうらまのこをうけつても  
あしうれをくげやるのうらのきれをかつても  
あしうれをくげやるのうらのきれをかつても

あしうれのうらまのあきちのよのうらまのこをうけつても  
あしうれをくげやるのうらのきれをかつても  
あしうれをくげやるのうらのきれをかつても

あしうれのうらまのあきちのよのうらまのこをうけつても  
あしうれをくげやるのうらのきれをかつても  
あしうれをくげやるのうらのきれをかつても

あしうれのうらまのあきちのよのうらまのこをうけつても  
あしうれをくげやるのうらのきれをかつても  
あしうれをくげやるのうらのきれをかつても

あしうれのうらまのあきちのよのうらまのこをうけつても  
あしうれをくげやるのうらのきれをかつても  
あしうれをくげやるのうらのきれをかつても

集国  
トスニナシ

集国  
ツナシ  
カキ  
カキ  
カキ



























新ノ上ヨリ沿革リ来ス...

一ノカキテ今ハ其儀...

一ノカキテ今ハ其儀...

四時名小園元...

五色白谷八入...

三人朝来...

物忘ス...

三人神祇...

字法...

全ク...

待列...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

三ノ大仁...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



わつのも... のち...  
*Handwritten notes in cursive script, likely bleed-through from the reverse side.*

伊豆口の... 昌平...  
*Handwritten text, possibly a title or chapter heading.*

昌平の... 人...  
*Handwritten text, possibly a name or a specific reference.*

昌平の...  
*Handwritten text, continuing the notes.*

昌平の...  
*Handwritten text, continuing the notes.*

昌平の...  
*Main body of handwritten text on the right page, including some red ink markings.*

昌平の...  
*Main body of handwritten text on the left page.*

昌平の...  
*Handwritten text at the bottom of the left page.*

昌平の...  
*Vertical handwritten text on the far left edge of the page.*







カワキヲシカサリ、ワラモユアルナリ

人三吾口

九代ニラカフキトテ子ヲ孫ノ様ニマシ

ニ日ニテアリトシラニアトクヘテカクフニテ雨ハタリセシメテ本ノ

おのちまたは又会合ニシ

フシラウシ

サテハカワキノ使ニ在リテ又テ

白膠木ノ名ニシテ又テ

今若使我勝敵云々

乃命軍先秦造川勝取白膠木

今使我勝敵云々川勝斬大連頭

トリナ川勝又軍先トシテ太子ノ

テ四天王ノ使ヲ作ラセシ

臣等宗宗モトニテ向ク先ノ

カワキニヨリテカワキノ名ハ

トトモイハレテカワキヲ

申上人ノ名ニシテ

カワキニテ名ニシテ

知名ハ樗 陸詞功韻云

又ハ樗 又ルテ樗木也樗

トモイハレテカワキノ名ハ

カワキニテ名ニシテ

ゴニモネリ

イホ人ニ向成

樗ノ白膠木又テ

出注地

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名

カワキノ名







Handwritten text in a cursive script, likely a list or notes, consisting of several lines of characters.

Vertical text on the right side of the page, possibly a date or reference.

古詠考

信友草稿



この代此教を主と我大受く付恒至千人福之教有く是等経乃重源先教の三代美と教仁和  
万すらわらぬものありし福此教。 〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

拾遺抄

又説三華山陵法皇也死す故を玉ヒしなり

西由三十三所ノ明礼ノ場ヲ好ム和州

モ谷寺ノ深山後乃上人と云信ヨリこ書巻

三に未ノ年ノ

大岡の夜地との... 〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

女論奇ノ歌約音ノ... 〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

万葉八七三首若宮... 〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

カハハヤ

松前唱歌

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

今世三十三

今世三十三

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり

〇礼を成。 おつしとやひ。 多分をさすししはちのびるにほものうち  
いふにるこそこころのちり



この代此歌を天皇御不登之御恒至乎今此歌を教有く山家集に乃重源光朝の三代実与義仁和歌  
万叶集の御歌を今此歌を教有く山家集に乃重源光朝の三代実与義仁和歌  
この代此歌を天皇御不登之御恒至乎今此歌を教有く山家集に乃重源光朝の三代実与義仁和歌

又説三華山陵法皇也死之歎也云云

西由三十三所ノ明礼ノ場ヲ好ム和州  
毛谷寺ノ山後乃上人上云信ヨリシ書卷  
三三三未ノ年ノ

大岡記云々 此の夜地との...  
此の夜地との...  
此の夜地との...

クリレー...

万葉八三首...  
万葉八三首...  
万葉八三首...

今の世三十三

思是礼...  
思是礼...  
思是礼...

その...

皇代...  
皇代...  
皇代...

此の...  
此の...  
此の...

サテ...  
サテ...  
サテ...

Handwritten notes at the bottom of the page, including some circled characters and small annotations.











この代此歌もまま我ら變り付恒至千今福と教有く山皇紀乃皇孫先朝の三代実と孝仁和  
万十の代此歌もまま我ら變り付恒至千今福と教有く山皇紀乃皇孫先朝の三代実と孝仁和  
この代此歌もまま我ら變り付恒至千今福と教有く山皇紀乃皇孫先朝の三代実と孝仁和

富家入道なる修業の事...  
福のつらかりらふふかきまかりし  
とけを福のうけぬ修業の事  
おしりなりとせんし  
覺悟しに世間の事  
まはらるる事  
さし人としらるる事  
まはらるる事

万葉八三首... 又世七首... 又世七首...

今世三十三

おきぬ...  
そのつゆ平野を

大平中...  
そのつゆ平野を

八八のやま

思はれぬ雨...  
うさなみ

七人五十おん  
皇孫あはまの  
おのりらも  
あまのこも

サテハ...  
トキ...

皇孫あはまの  
おのりらも  
あまのこも

琵琶  
三曲の  
少の  
少の



この代此教も至王叔大受し付但至今福教有く是等経乃屋、詠美舞の三美夫と致に和  
万丁云々、此の代此教も至王叔大受し付但至今福教有く是等経乃屋、詠美舞の三美夫と致に和  
いかに此の代此教も至王叔大受し付但至今福教有く是等経乃屋、詠美舞の三美夫と致に和

又説三華山段后皇地礼の取まじり

西面三十三所ノ明礼ノ場ヲ好六和州  
老谷寺ノ山後乃上人上云信ヨリノ書卷

三三末ノ年ノ

大岡江世 協力の世  
以れ花の以まきせり、以れ  
十  
女高寺ノ歌の音、  
まらにん

三三末ノ年ノ  
大岡江世 協力の世  
以れ花の以まきせり、以れ  
十  
女高寺ノ歌の音、  
まらにん  
三三末ノ年ノ  
大岡江世 協力の世  
以れ花の以まきせり、以れ  
十  
女高寺ノ歌の音、  
まらにん

如討券

今の世三十三所此観音を修行するもの、こうきんの福をうぶりのちの福を  
おまじ 和信と云へて、こころをまよひに  
まらにん

そのついでに、  
大平も大平のついでに、  
おまじ 和信と云へて、こころをまよひに  
まらにん

そのついでに、  
大平も大平のついでに、  
おまじ 和信と云へて、こころをまよひに  
まらにん

そのついでに、  
大平も大平のついでに、  
おまじ 和信と云へて、こころをまよひに  
まらにん

三三末ノ年ノ  
大岡江世 協力の世  
以れ花の以まきせり、以れ  
十  
女高寺ノ歌の音、  
まらにん

紫雲公

元来大山なる者、故にちかく海跡と  
こころの位根をよほも時を、こころの位根を  
面と浮の付ら、故にちかく海跡と  
こころの位根をよほも時を、こころの位根を



この代此歌を天皇我々不變の付恒三千年此の歌をく出帝紀乃屋詠先歌の三代天皇と孝仁天皇  
万葉集の御歌に詠此歌 〇花子歌、おししとやけり、多きをさししにちのちのちのちのち  
又詠三華山陵法皇史記ヲ歎メヒシタリ

西由三十三所ノ明礼ノ場ヲ好ハ和州  
モ空寺ノ算山後及上人上法信ヨリコ書卷

三三三未ノ年ノ

大同の世 徳の世  
大向の世 徳の世  
大向の世 徳の世

古詩考  
万葉八十三首巻第百二

三三三未ノ年ノ  
西由三十三所ノ明礼ノ場ヲ好ハ和州  
モ空寺ノ算山後及上人上法信ヨリコ書卷  
三三三未ノ年ノ  
西由三十三所ノ明礼ノ場ヲ好ハ和州  
モ空寺ノ算山後及上人上法信ヨリコ書卷

古詩考

哥詠ハ音曲の二首を考侍に

今ノ世三十三所此觀音を收積する所の、うそつゝ詠るるふりのちの詠る

三三三未ノ年ノ  
西由三十三所ノ明礼ノ場ヲ好ハ和州  
モ空寺ノ算山後及上人上法信ヨリコ書卷

三三三未ノ年ノ

その三三三未ノ年ノ、右傳に、三十三箇觀音なるを、三三三未ノ年ノ、  
大平寺大坂寺多摩寺三三三未ノ年ノ、右傳に、三十三箇觀音なるを、  
三三三未ノ年ノ、右傳に、三十三箇觀音なるを、

三三三未ノ年ノ、右傳に、三十三箇觀音なるを、  
三三三未ノ年ノ、右傳に、三十三箇觀音なるを、

三三三未ノ年ノ、右傳に、三十三箇觀音なるを、  
三三三未ノ年ノ、右傳に、三十三箇觀音なるを、

三三三未ノ年ノ、右傳に、三十三箇觀音なるを、







Handwritten notes at the top of the page, partially obscured by a white strip of paper.

この事柄は多分... 新刊年記... 人の名... 入... 出...

人の名... 入... 出... 入... 出...

和原... 入... 出... 入... 出...

の... 入... 出... 入... 出...

の... 入... 出... 入... 出...

の... 入... 出... 入... 出...

の... 入... 出... 入... 出...

の... 入... 出... 入... 出...

の... 入... 出... 入... 出...

の... 入... 出... 入... 出...

の... 入... 出... 入... 出...

の... 入... 出... 入... 出...

の... 入... 出... 入... 出...



Handwritten text in a cursive script, possibly a diary or journal entry. Includes a date-like notation at the top right.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or list.

Handwritten text in a cursive script, with some red annotations.

Handwritten text in a cursive script, featuring several circled words.

Handwritten text in a cursive script, with red markings and underlines.

Handwritten text in a cursive script, showing some vertical lines and red highlights.

Handwritten text in a cursive script, with red annotations and a circled word.

Handwritten text in a cursive script, with red markings and a circled word.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a specific heading.

Handwritten text in a cursive script, possibly a date or a specific note.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Red handwritten text at the top right of the page.

Vertical handwritten text on the left side of the page, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a specific heading.

Handwritten text in a cursive script, possibly a date or a specific note.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of notes.

Vertical text at the top left of the page, possibly a page number or a header.

Red handwritten text at the bottom right of the page.

Red handwritten text at the bottom left of the page.















平之文  
西中考証の巻後少少の口  
御中  
美久ノ書

110X  
138  
1